

令和3年度圏域の事業計画・収支計画

(南部地区)

守山学区

小津学区

## 地域包括支援センター事業計画書および評価:南部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	総合相談支援業務		
基幹からの重点事項	担当地区における地域の相談拠点となるよう広くセンターの周知・啓発を行うとともに、住民に地域の相談窓口として認識してもらえるような取組を進めること。併せて、各学区ごとの高齢者および関係機関等の状況を把握し、円滑なセンター運営のためのネットワーク構築を図ること。また、総合相談フローに基づく緊急度のアセスメントを適切に行い、状況に応じた迅速な対応をめざすこと。			
事業内容	令和3年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 地域におけるネットワーク構築	担当地域の民生委員・児童委員、関係機関等と信頼のおける関係を作り、ネットワークの構築を行う。		○	
	インフォーマルサービス等の社会資源の把握に努めると共に、新たなインフォーマルサービスの資源の開発の取り組む。		○	
2 高齢者の実態把握	南部地区の高齢者が通う商店（スーパー、薬局）等に対して南部包括の周知を図り、支援が必要と思われる高齢者等についての情報を得る。		○	
	圏域内のマンション管理人に対して日頃からの相談窓口として、南部包括の周知を行い、支援の必要な高齢者等についての情報を得る。		○	
3 相談窓口機能	初期におけるアセスメントを適切に行い、早期に対応する。課題整理および方向性を検討した上で適切な機関、制度、サービス等につなげる。又、家族全体の総合的な相談についても、情報を整理し関係機関との連携を密に行い対応する。	○		
	相談内容については、3職種で共有し、緊急時には、担当者不在でも速やかに対応できる体制を整え対応する。	○		
4 専門的な相談支援	困難事例を把握したときは、3職種で連携し対応方法を検討する。必要に応じて基幹型、関係課職員との連携を図り適切に対応する。	○		
	個々のアセスメント能力の向上を目指し、定期的に部署内で事例検討を行う。		○	
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	地域のネットワーク構築については、民生児童委員等の地域の担当者とのケース支援や出前講座等を通して関係性強化に努めた。高齢者の実態把握については、圏域内小売店等への訪問を開始した。相談窓口機能・専門的な相談支援としては、担当者不在時でも速やかに対応できるよう、朝礼で、全職員でケース共有し、困難ケースについては、ケース検討を行うことで、課題整理し、関係機関と連携しながら適切な支援を行っている。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	小売店への訪問など地域の実情の把握に努めている。また、困難ケースについて、所内で情報共有ができています。今後も積極的に地域に出向くなど、高齢者の生活実態の把握に努めていただきたい。
	○			

## 地域包括支援センター事業計画書および評価:南部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	権利擁護業務		
基幹からの重点事項	住み慣れた地域で高齢者が尊厳ある暮らしができるよう、権利擁護のための諸制度の活用を支援すること。虐待対応について、緊急性を常に意識し、必要に応じて基幹型と連携するなか、迅速な対応を行い早期の終結をめざすこと。また、地域住民や事業所等に対し、虐待の予防につながる取組を実施すること。			
事業内容	令和3年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 高齢者虐待への対応	民生委員・児童委員、地域住民や関係機関との連携を密にし、高齢者虐待の予防にかかる啓発や通報窓口の周知を行い、早期発見及び虐待防止に努める。		○	
	通報を受理した時は、虐待支援マニュアルに基づき基幹型に報告し、迅速に対応する。必要に応じて高齢者虐待対応支援ネットを活用し、高齢者への支援方法を検討する。		○	
2 成年後見制度等の活用促進	権利擁護事業、成年後見制度等を高齢者が適時活用できるよう、関係機関や住民への周知啓発を行う。		○	
	認知症などにより判断能力の低下がみられる対象者においては、成年後見制度を適時活用できるよう支援する。	○		
3 消費者被害の防止	関係機関や消費生活相談員等と連携を図り、消費者被害の状況、内容などについて把握する。		○	
	サロンや訪問時に消費者被害の有無等の情報を収集する。また、消費生活センターや警察等からの情報を発信し、注意喚起を行う。		○	
4 その他	任意後見制度利用についての研修を行い、任意後見制度利用も必要に応じて支援する。		○	
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	虐待対応についてはケアマネジャーや関係機関との連携のもとで速やかな対応に努めた。成年後見制度・権利擁護事業の利用支援については関係機関や関係者と連携し利用へと繋げたケースが多くあった。必要時の支援ができるように任意後見制度についての研修を受けた。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	虐待など、所内で判断根拠を明確に持ちながら、関係機関と対応できている。今後も、虐待、権利擁護、成年後見、消費者被害等について住民への周知啓発をお願いしたい。
	○			

地域包括支援センター事業計画書および評価: 南部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		
基幹からの重点事項	地域の高齢者等が本人の能力を活かしながらその人らしい暮らしを継続でき、課題解決のために社会資源を自己決定により活用できるよう、介護支援専門員の活動を支援すること。地域全体のケアマネジメント力の向上に向け、地域の主任介護支援専門員とともに介護支援専門員の資質および対応力の向上に取り組むこと。			
事業内容	令和3年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 包括的・継続的ケアマネジメント支援	地域の主任介護支援専門員と共に介護支援専門員が抱える困難事例について、具体的な支援方法を検討し相談援助を行う。		○	
	介護支援専門員からの相談内容から課題を抽出し、解決策を検討する。	○		
2 包括的・継続的ケアマネジメントを行うための環境整備	自治会等地域住民、集いの場などインフォーマルな地域資源との関係づくり、発掘を行う。		○	
	日頃の相談業務や地域ケア会議などから地域課題や地域の強みを把握する。		○	
3 地域におけるネットワーク構築	介護支援専門員からの相談ケースに円滑に対応できるよう日頃から各事業所、関係機関とのネットワークを構築する。	○		
	地域で抱える課題解決に向けて、実践力向上のための研修会や事例検討会を行う。	○		
4 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	実践力と対応力の向上にむけ、困難ケースの事例検討を積極的におこなった。また、各ケアマネジャーからの相談に広く対応できるよう、行政関係機関や地域の関係機関へ繋ぐ働きかけをおこなった。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	所内で積極的に事例検討を行う、精神疾患へ勉強会を行うなど、対応力・資質の向上に努められている。今後も、地域住民、集いの場などインフォーマルな地域資源との関係づくりや発掘に取り組んでいただきたい。
	○			

## 地域包括支援センター事業計画書および評価:南部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	在宅医療・介護連携推進事業		
基幹からの重点事項	地域住民に対して在宅医療や看取りについての情報を広く周知し、在宅医療・介護連携サポートセンターと連携を図るなか、身近な地域で高齢者や家族等が安心して相談できる体制整備を行うこと。出前講座や各種教室等の機会を活用して、エンディングノートの普及啓発・活用促進を図ること。			
事業内容	令和3年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 在宅医療・介護連携事業の周知・啓発	病院からの退院時等、在宅医療・介護連携サポートセンターとの連携を図り、在宅療養、看取りの推進に取り組む。	○		
	家族介護者教室の講座等を通して市民への在宅医療、介護に対する啓発を行う。		○	
2 在宅医療・介護連携に関する相談支援	在宅医療・介護連携サポートセンターやその他関係機関等との連携を行い、家族が不安なく自宅で介護できる体制を整える。	○		
3 在宅医療・介護連携推進のための多職種連携	近隣病院の地域医療連携室等窓口と日頃から連携を密に行い、スムーズな退院支援につなげる。	○		
4 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	日頃から、病院の地域医療連携室等の窓口と密に連絡をとり、スムーズな在宅生活に移行できるよう支援した。看取りケースなどは在宅医療・介護連携サポートセンターと連携し、スムーズな退院支援に努めた。在宅医療・介護連携サポートセンターと共催で公民館事業の一環としてエンディングノートの普及・啓発の出前講座を行った。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○			コメント 病院の地域医療連携室、在宅医療・介護連携サポートセンター等関係機関と連携し、在宅療養に向けた支援が実施できている。今後も、住民への在宅医療・介護に関する啓発や看取りを推進していただきたい。
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	
	○			

## 地域包括支援センター事業計画書および評価:南部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	認知症総合支援事業		
基幹からの重点事項	認知症の人やその介護者等が地域で安心して暮らすことができるよう、正しい知識の普及啓発を図ること。認知症初期集中チームとの連携を図り、認知症の早期発見・早期支援に努めること。また、介護者の負担軽減のための取組を進め、行方不明高齢者等SOSネットワーク事前登録制度について周知啓発を行い、行方不明時の早期発見・対応に努めること。			
事業内容	令和3年度 圏域の計画	実施状況(自己評価)※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 認知症に関する正しい知識の普及啓発	認知症サポーター養成講座を、南部包括での開催や地域に出向き実施し、正しい知識の普及啓発を行う。未実施の地域への講座開催の啓発を行う。			○
2 認知症初期集中支援の推進	初期集中支援チームと連携し、早期から認知症の人に関わり、必要な医療や適切なサービスにつなぐことにより重症化の予防に努める。		○	
	認知症による行方不明高齢者への早急な訪問活動、関係機関との連携による対応を実施する。発見後も継続的な支援を行う。		○	
3 認知症の人やその家族への支援	認知症の人やその介護者が集い、介護負担の軽減や悩みの解消ができる居場所づくりを地域に推進する。南部包括ではオレンジカフェ「お結びカフェ」を実施する。(毎月1回)		○	
	「ものわすれチェック」を出前講座等機会があるごとに啓発し、随時実施する。「(仮)もの忘れ相談会」を定期開催する。			○
4 その他	行方不明高齢者等SOSネットワーク事前登録を推進する。	○		
	感染拡大防止の対策のもと、コロナ禍における集いの場の開催を行う。	○		
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	コロナ禍で自治会活動の中止が長期化し、普及啓発の機会は減少した。認知症サポーター養成講座の開催を小津学区福祉協力委員と準備していたが、コロナ感染拡大により延期、中止となった。養成講座の地域への普及に向けて検討が必要。SOSネットワーク事前登録制度の登録を積極的に進め、20件登録した。早期発見にもつながっている。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○			コメント
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	
		○		行方不明リスクのある人の事前登録の推進、集いの場の再開などができていた。今後は、さらに認知症の早期発見・早期対応にむけた講座やもの忘れチェックの実施啓発などの取組を進めていただきたい。



## 地域包括支援センター事業計画書および評価:南部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	任意事業	家族介護支援事業		
基幹からの重点事項	家族介護者等への支援のため、家族介護者教室等の事業を実施すること。対象者や内容の選定等について、担当地区の地域特性に応じて検討し、多くの住民の参加を促すこと。また、認知症家族介護者訪問等を活用し、介護の実態把握を行い、介護者負担の軽減および虐待防止の取組につなげること。			
事業内容	令和3年度 圏域の計画		実施状況（自己評価）※いずれかに○	
			より工夫して できている	できている
1 家族介護者支援事業	家族介護者教室を5回シリーズで実施する。 男性介護者への参加呼びかけを強化する。		○	
	幅広い世代が参加できる教室を開催し、地域の介護意識の向上を図る。 (親子介護教室等)			○
2 家族介護者訪問	認知症家族介護者訪問を適宜実施し、介護の実態把握を行い、介護負担の軽減につなげる。			○
	訪問前後に介護支援専門員と情報共有することで、必要に応じて介護支援専門員との連携や介護支援専門員の支援につなげる。		○	
3 その他	任意事業として、市民向けの自転車安全運転教室を実施する。			○
事業全体についての総括				
圏域の自己評価	家族介護者教室は5回シリーズで実施し、介護者のメンタルヘルスについての内容を取り入れた。家族介護者訪問はコロナ禍で、訪問が難しく、電話での聞き取りを中心に実施し、担当の介護支援専門員と情報共有を行うなど連携に努めた。任意事業で幅広い世代に向けた教室等についてはコロナ禍で実施できなかった。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	感染対策に配慮しながら、家族介護者教室や家族介護者訪問を実施できた。今後もウイズコロナ、アフターコロナを考えながら地域課題に応じた企画・運営をお願いしたい。
	○			

## 地域包括支援センター事業計画書および評価:南部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	介護予防・日常生活支援総合事業	介護予防ケアマネジメント		
基幹からの重点事項	高齢者のフレイル(虚弱)予防のための取組を進め、自費サービス、サービス未導入者などについて、フォーマル、インフォーマルサービスの活用促進を検討し、地域において自立した生活を送ることができるよう支援すること。			
事業内容	令和3年度 圏域の計画	実施状況(自己評価) ※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 自立支援・重度化防止等への取組	インフォーマルな社会資源の把握、発掘を行い、地域の通いの場を介護支援専門員に周知することで、ケアプランへの位置づけを推進する。		○	
2 自費サービス利用者、サービス未導入者等への支援	自費サービスのみの利用者について、継続的にモニタリングを行い、必要に応じてフォーマル・インフォーマルサービスの利用支援を行う。			○
3 介護予防ケアマネジメント委託における事業所選定の公平性・中立性の確保	基幹型包括と情報共有しながら、公平・中立な事業所選定を行う。	○		
4 その他	介護保険非該当の高齢者世帯などで生活支援等のサービスが必要な場合は、資料や一覧表を活用し、インフォーマルサービスなどの情報提供・利用支援を行う。		○	
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	要支援のケースが多く、市内の事業所で受け持ち可能な事業所が見つからない為、要支援受け入れ可能な法人内事業所や受け持ち可能な市外の事業所への依頼が増えている。介護保険非該当の高齢者の方には、地域のカフェや地域での自主教室などにつなぎ、フレイル予防に努めた。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	介護保険非該当やサービス未利用者をカフェにつなぐなど、閉じこもり・フレイル予防に取り組んでいた。今後も、できるだけ住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう支援に取り組んでいただきたい。
	○			

地域包括支援センター事業計画書および評価: 南部地区地域包括支援センター

令和3年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画					
地域支援事業	介護予防・日常生活支援総合事業		一般介護予防事業		
基幹からの重点事項	地域での通いの場の状況について把握を行い、住民が自ら参加できるように支援を行うこと。守山百歳体操や守山健康のび体操の活用等、あらゆる機会を利用して介護予防の必要性や取組について啓発を行うとともに、身近な地域における自主グループ活動の継続的な取組を支援すること。				
事業内容	令和3年度 圏域の計画			実施状況(自己評価)※いずれかに○	
				より工夫して できている	できている
1 介護予防把握事業	地域における介護予防の取組の実態把握に努め、必要時に情報提供する。				○
2 介護予防普及啓発事業	南部包括主催「Let'sトライ8」の実施、参加者を各地域の教室に継続できるよう情報提供する。参加者のモニタリングを継続し、フォローアップ(半年後の声かけ)を行う。			○	
	「守山百歳体操」と「もりやまプラス体操」の普及啓発に努める。			○	
3 地域介護予防活動支援事業	地域で行う居場所づくり、介護予防活動の立上げ、継続支援を行う。				○
4 地域リハビリテーション活動支援事業	守山健康のび体操を、基幹型包括と連携し推進する。				○
4 その他	各会館主催の教室において、介護予防講座(出前講座)を1回以上行う。				○
	コロナ禍で地域の居場所、集いの場を実施するために、感染拡大防止のための基本的な対策の意識づけを行う。			○	
圏域の自己評価	<p>事業全体についての総括</p> <p>教室の募集人数を減らし、参加者にも感染予防の必要性を繰り返しアナウンスしながら実施した。自宅でも継続して実施してもらえるよう自前講座、出前講座などで「もりやまプラス体操」を紹介し、普及に努めた。</p> <p>小津会館で3回シリーズの介護予防教室を開催したが、コロナ感染拡大により、3回目は実施できなかった。</p>				
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○			コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	感染対策に配慮しながら、もりやまプラス体操の普及など、介護予防の推進に取り組むことができた。高齢化率一位の地域や今後急激な高齢化が予測される地域の担当包括として、さらに介護予防の推進に力を入れていただきたい。	
	○				